



県民の歌

「子どものころから歌い、親しみがある。」
 「なつかしい気持ちになる。」「ふるさとへの
 想いを呼び起こす。」と応募がありました。

県民の郷土愛を高め、明るく豊かな住みよい郷土をつくるため、県内在住者及び県出身者から公募、選定し、昭和37年に県民の歌がつけられました。歌詞には、栃木県への愛や親しみを感じられ、県民の心が一つになる歌です。

【プロスポーツの応援のときにも歌われています】



栃木 SC ©TOCHIGI SC



リンク栃木ブレックス ©TOCHIGI BREX

～とちぎ人の想い～

小学校のときに、授業で習いました。大人になってみんなで歌うと、栃木県に生まれて良かったなあと思い、感動する瞬間があります。

〈県民の歌〉

作詞 岡きよし 作曲 川島博

1 番

とちの葉の 風さわやかに
 晴れわたる 町よいらかよ
 男体は 希望に明けて
 日の光 よもにみなぎる
 栃木県 われらの われらのふるさと

2 番

鬼怒川の 水きよらかに
 尽くるなき さちよ恵みよ
 生産は 日ごとに伸びて
 躍進の いぶきたくまし
 栃木県 われらの われらのふるさと

3 番

人の和の 夢おおらかに
 盛りあがる 自治よ自由よ
 けんらんの 文化にはえて
 とこしえに 若さあふるる
 栃木県 われらの われらのふるさと

ダ・カーポの歌声でおなじみです。なお、県民の歌は、平成26年3月4日に通信カラオケで全国配信が開始されました。